

登録コード	ASN03673	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	荒瀬 輝夫	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士2年生	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				環境の保全と修復の分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を身につける。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				研究の計画から実践, データ収集と分析・考察する能力をもとに, 研究成果を国内外の学会等で発表できる能力を身につける。		
授業の概要	1 植生や野生生物の保全 2 生物と環境との関わり 3 生態的現象の数理解析 4 有害植物・鳥獣対策 5 未利用資源植物の食用・薬用・緑化利用 6 植物の分類・地理 など。 農学的な目的意識を持っていれば, 基本的に研究テーマは野外(植生調査・緑化試験・系統収集など)・室内(発芽実験や画像解析など)を問わない。						
Contents:	1 Conservation of vegetation and wildlife 2 Relations between plants and environment 3 Mathematical analysis for ecological phenomena 4 Damages by plants, birds and animals on agriculture and forestry 5 Utilization of wild resource plants for food, medicine, and revegetation 6 Phytogeography and plant taxonomy For any topic, agricultural sence of purpose is indispensable.						
授業計画	・調査・実験計画, 中間報告, 期末報告をゼミ形式で発表。 ・参考となる文献紹介のゼミ発表(英文含む)。 ・現地踏査, データ収集と解析, とりまとめ。 ・修士論文中間報告会および審査会でのプレゼンテーション。 ・特別研究論文要旨提出とプレゼンテーション(環境共生学分野)。 ・論文作成と添削指導, 修正。 とりまとめた内容の学会等への発表や投稿も推奨・指導する。						
成績評価の方法	論文審査による。 ・修士論文中間報告(M2の5月頃), 審査会(M2の2月頃)。 ・最終的に特別研究論文を提出。						
成績評価の基準	審査会での発表と質疑応答内容, 特別研究論文の質が十分に達成されていれば「卓越している」, ほぼ達成されていれば「かなり上にある」, 概ね達成されていれば「やや上にある」, 不十分な点が残るが構成・論旨が整っていれば「水準に達している」とする。						
事前事後学習の内容	関連する既往文献の収集と情報整理, 文献購読に必要な英語力の鍛錬に, 不断の努力を怠らないこと。 また, 調査地や研究対象の植物に対し, 常日頃の観察を心がけ, ささいな発見や疑問でも見過ごさないようにすること。						
履修上の注意	・特別研究は, 2年目最後の論文提出と審査会・発表会がゴールとなりますが, 途中の節目で成果を着実にまとめて積み上げていくことが大切です。学位論文は1から作成するものではなく, 成果を編集するものですので, 計画的に取り組んでください。 ・途中の節目として, 中間報告会のほか, 学会での発表, 学会誌や紀要への論文投稿の機会もあります。少なくとも年1回は, 成果をまとめて審査つきの場で発表することを推奨します(結果的に修士論文をまとめるとき楽になります)。						
質問,相談への対応	随時受け付ける。						
学生へのメッセージ	・自分の専門性・技量を磨くのはもちろんですが, 他の分野にも興味を持ち, 知識と視野を広げてください。 ・教員とより深く関わる立場になりますので, 研究室運営や教育研究活動にも積極的に参画するようにしてください。						
【教科書】	とくになし。						
【参考書】	必要に応じて紹介・指示します。						